

令和7年度 学校評価(職員・保護者)の結果と考察と学校関係者の意見

評価基準 A:十分達成されている B:達成されている C:取り組まれているが、成果が十分でない D:取組が不十分である

1保育の計画性		主な評価事項	A	B	C	D
職員		指導計画は、園の方針を踏まえ、子どもの実態などを考慮して作成している。	47.4	52.6	0.0	0.0
		子どもの記録を大切に、次の保育に生かしている。	47.6	52.4	0.0	0.0
保護者		おさんは、楽しんで幼稚園に通っている。	81.6	18.4	0.0	0.0

園では、日々、子どもの様子を記録し、子ども一人一人の変化や成長に気付くことができるように心掛けています。また、できるようになったことだけでなく、苦手なことや挑戦していることなどの様子を記録するとともに、どのような援助をしたかも合わせて記録するよう心掛け、子どもの成長を支えています。指導計画については子どもたちが楽しんで活動に参加できるように子どもの実態に合わせ、時には今までとやり方を変えて計画し、目標の達成を目指しています。

【学校関係者】
 ・先生方一人一人が保育について計画を立てて実施されていることは、素晴らしいと思います。子どもたちの成長は人それぞれですので、一人一人に合った計画を立て、これからはがんばってください。何よりも、保護者より楽しんで幼稚園に通っているという回答が8割を超えていることから、先生方の教育や雰囲気づくり、やる気を引き出す努力の賜物かと思えます。
 ・園が子どもの様子を記録し、日々の保育に生かしていることが伝わってきました。子どもが楽しく幼稚園に通っていることは保護者として嬉しく思います。これからも一人一人の成長を大切に保育を続けていただければと思います。

2保育の在り方		主な評価事項	A	B	C	D
職員		子どもの健康と安全に、常に配慮している。	68.2	31.8	0.0	0.0
		子どもの言葉や気持ちに共感し一人一人のよさを認め対応している。	77.0	23.0	0.0	0.0
		個も集団も大切に保育を行っている。	27.3	72.7	0.0	0.0
保護者		園は子どもの健康と安全に配慮している。	90.5	9.5	0.0	0.0

園では、子どもの顔色や表情、現れをよく観察し、副担任と情報共有をしながら、体調の変化に気付けるよう心掛けています。外遊び等では職員のいる位置が重ならないよう意識し、子どもの様子が見られるように今後も十分に気を付けていきます。預かり保育でも、いつもと違った様子が見られたり、初めて利用する子がいたりときには、担任と連携をとるよう心掛けています。保護者からは、園は子どもの健康と安全に配慮しているという回答をいただきました。今後も、園の全職員で子どもたちが安心安全に園の生活が送れるように努めていきます。

【学校関係者】
 ・個々の様子を大切にしながら、集団での関わりも丁寧に支えてくださっている点に感謝します。また、子どもの健康状態、安全面に十分に気を配って保育をしてくださっていることがありがたいです。

3保育者としての質の向上のための努力		主な評価事項	A	B	C	D
職員		幼稚園教諭としての指導の「引き出し」を多くしようと心がけている。	35.0	55.0	10.0	0.0
		守秘義務を果たしている。	86.4	13.6	0.0	0.0

園では、担任と副担任が情報共有しながら子どもが安心して過ごせる環境か、常に考えながら個と集団に対応をしています。全職員で、情報を共有し、話し合ったり、教え合ったりして学び合い、保育の質を高め合う雰囲気があります。

個人に関する情報については、幼稚園教諭としての責任を持ち、子どもの情報が絶対に外に出ないように気を付けています。

【学校関係者】
 ・職員の方が責任感を持って指導にあたり、守秘義務を大切にしている。安心して子どもを預けられる環境が整っていると思います。

4保護者との連携		主な評価事項	A	B	C	D
職員		園だより、クラスだよりなどを通して子どもの様子・教育内容を発信している。	36.8	57.9	5.3	0.0
		保護者とのコミュニケーションを大切に子どもの様子を共通理解している。	20.0	80.0	0.0	0.0
保護者		おうちの方は、相談ごとがあるときは、園の職員に相談している。	43.0	44.3	10.1	2.5
		園は、おうちの方や子どもの相談ごとを受け止めて、丁寧に対応している。	79.7	20.3	0.0	0.0

園では、お家の方と話をする機会があるときには、最近の様子や頑張っていることも合わせて伝えるよう心掛けています。

預かり保育でも、特にいつもと違った様子が見られるときや初めて利用する子の様子、お迎えにきた保護者に伝えられるように心掛けています。

保護者の皆様からの相談には、いつでも対応しますよう努めていますので、ご遠慮なさらずにお声掛けください。

【学校関係者】
 ・朝泣きながらバス登園しても、教室に行く前に担任の先生に知らせてくださったり、体調不良の時だけでなく、給食が初めて食べられた等、普段と違うことが起きたとき、連絡をいただけて有難かった。
 ・園が日頃から保護者とのコミュニケーションを大切に子どもの様子を丁寧に伝えようとしてくれていることと感じます。担任の先生からシール帳に毎月、子どもの様子のコメントを書いてくれることを親子共々楽しみにしています。

5地域の自然・社会との関わり		主な評価事項	A	B	C	D
職員		地域の自然や施設・機関を保育に活用している。	31.6	47.4	21.0	0.0

園では、園外保育の場所を毎年検討したり、今後施設だけでなく、小学校との連携や地域社会との交流を通して学びのあるものになっていくことができるよう、工夫していきたいと考えています。

【学校関係者】
 ・園内だけでなく今後も園外での活動に期待します。例えば、地域の高齢者との関わりという点で、敬老会や寄り合い処、認知症カフェなど、より地域に根ざした社会活動に参加することもよいのではと考えます。
 ・地域の自然や施設を活用した保育を取り入れてくださって、子どもたちにとってよい経験につながっていると思います。年中・年長になると、神社や商店街を巡って、その名称や意味などを教わり、地域の歴史や人とのつながりを身近に感じられるよい機会だと思います。他園との交流も復活してとてもよいと思います。

6研修への取組		主な評価事項	A	B	C	D
職員		年に1回以上は外部研修に参加し保育に役立てている。	61.1	38.9	0.0	0.0
		本園の研修主題に沿った保育を実践することにより、子どもを深く理解し、成果に繋げる努力をしている。	52.6	47.4	0.0	0.0

園では、子どもの目指す姿から育てほしい姿を考えるとともに、今の保育を振り返り、工夫・改善を重ね、これから更に子どもに子どもに寄り添った保育を目指し、研修を進めています。今後も、子どもたちが主体的に学ぶ保育は環境設定や教育計画を高めていきたいと思っています。

【学校関係者】
 ・外部研修を実施することで、先生方のより広い視野で保育していただけていると感じる。

7園運営		主な評価事項	A	B	C	D
職員	子ども達が育つ園行事を企画し実施している。		57.9	42.1	0.0	0.0
	園の思いを伝える努力と保護者の希望をくみ取る努力をしている。		55.0	45.0	0.0	0.0
保護者	お父さんは、園の行事を楽しんでいる。		93.7	6.3	0.0	0.0
園では、時代にあったものかどうか見直したり「なにが育つのか」ねらいをしっかりと見定めて計画を立てています。行事の計画を綿密に立て、行事後に各年齢ごと、子どもたちが成長している姿を実感しています。今後も、目指す姿や目標を明確にして、どのように行事を進めていってほしいかを考えていきたいと思っています。						
【学校関係者】						
・すべての行事を3回ずつ経験し、私自身も近くで観させていただきましたが、毎年、とても楽しんでいるし、年齢に合った感じ方ができているので、年齢にあった感じ方ができているので園の行事はこのままでできる限り継続していただきたい。ただ楽しいだけではなく、子どもの育成を意識して、行事を検討していただいている。						
・歴史ある園の中で、大事にしていきたいもの、時代に合わせるもの、様々だと思います。園がそこを考えてくれているのも伝わっています。それが全体にもっと伝わってほしいなと思っています。						
8 育てたい資質・能力 自立心について			A	B	C	D
職員	しなければならぬことを自覚し、自分の力で行うために考えたり、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げる。		25.0	70.0	5.0	0.0
	お父さんは自分の力で諦めずにやってみようとするが増えている。		50.6	43.0	5.7	0.6
園では、まずは、「自分でやってみよう」の気持ちを子ども達が持てるような声かけをしています。子どもが自分の力で行うことの喜びや達成感を味わうことで、他の場面でも「やってみよう」と自分で考えられるようになっていっていると感じます。私たち教師は、教えるのではなく、子どもと一緒に考え、目指していくことが大切だと感じています。そのために、失敗を安心してできるような環境作りにも努めています。						
【学校関係者】						
・子どもが自分で考え、挑戦しようとする気持ちを大切にしたい関わりが行われていることが娘を見て伝わります。娘も「こんなこともあるよね」と失敗をしても下を向くこともなく、次に向けてどうすれば成功するのかと気持ちを切り換えるような姿勢を見せてくれます。これも先生方の環境づくりのおかげだと思っています。						
9 育てたい資質・能力 協同性について			A	B	C	D
職員	友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の目的の実現に向けて、考えたり、協力したり、充実感をもってやり遂げたりする。		20.0	65.0	15.0	0.0
	お父さんは、友達や家族と思いや考えを伝え合い、工夫したり、協力したりしてやり遂げることが増えている。		53.2	41.8	4.4	0.6
園の教室では、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりする場面があり、そこでどうしたらみんなが納得のいく答えになるのかを話し合う場面があります。次第に、たくさんの意見を出し、認め合う姿がみられるようになっていっています。私たち教師は、それぞれが納得し、主体的に活動に参加できるよう、支援しています。						
【学校関係者】						
・リズム発表会や運動会など、みんなで何かをやり遂げる行事を通して、友だちを大切にする、応援する、力になるという気持ちや力が身に付いてきていると思います。						
・日々の生活の中で友だちと話し合っ意見交換をし、力を合わせて物事をやり遂げようとする機会をたくさんつくっていただけてありがたいと思います。						
10 育てたい資質・能力 道徳性・規範意識の芽生えについて			A	B	C	D
職員	してよいことや悪いことが分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感したりして、相手の立場に立って行動する。		15.0	75.0	10.0	0.0
	きまりを守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合いを付けながらきまりをつくらしたり、守ったりするようになる。		15.0	70.0	15.0	0.0
園では、友達とのトラブルが起きた際には、何がいけなかったのか、どうすればよかったのかを互いに確認し、一緒に考えられるように声掛けを行っています。次第に、互いが気持ちよく過ごせるよう話し合っ、自分たちで解決する姿がみられるようになってきています。						
自分の言動を落ち着いて振り返ることで、次にはどうすればよいのかを考え、自分にとっても、相手にとってもよい方法を見つけ、行動することにつながっているようです。						
【学校関係者】						
・悪いことを本人に理解してもらうことは難しいかと思ひます。先生方が一緒に考えてくれる姿勢がとてもよいと思ひます。理解、解決に向けて、これから子どもたち一人一人と向き合ってください。						
・ルールやきまりを押し付けるのではなく、子ども自身が考えて、納得し、約束事を守ることを身に付けていく関わりをしてくださることに感謝します。今後も、なぜルールを守る必要があるのか、子どもが考えられる環境をつくっていただけるとありがたいです。						
11 育てたい資質・能力 思考力の芽生えについて			A	B	C	D
職員	物の性質や仕組みなどを感じ取ったり、気付いたりし、予想したり、考えたり、工夫したりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。		20.0	50.0	30.0	0.0
	友達の様々な考えに触れる中で、自分とは異なる考えがあることに気付き、自ら判断したり、考え直したりするなど新しい考えを生み出す喜びを味わう。		20.0	55.0	25.0	0.0
保護者	お父さんは、身近な事象について考えたり、感じ取ったり、予想したり、気付いたりすることが増えている。		57.0	36.1	6.3	0.6
園では、科学教材や月刊誌のしぜん、野菜の栽培など、様々な活動の中で、疑問に思っことを教師が教えてしまうのではなく、考えられるような声掛けを心掛けています。子どもたちは知っている知識を教師や友だちに伝えたり、家庭で熱心に調べたりするなど考えを深めていました。						
私たち教師は、話し合いの中で他の意見に耳を傾けたり、考え直したりする等、相手の思いに気付けるように進めています。						
【学校関係者】						
・一人一人個性があります。いろいろなことに興味を持つ、自分の意見を言える、考える力、その雰囲気づくりや言葉かけは大変かと思ひます。						
・園で疑問に思っことなどを家で調べたり、作ってみたいすることやクラスで話し合ったりすることで小学校につながる力が付いてきています。						
12 育てたい資質・能力 健康な心と体			A	B	C	D
職員	自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出す。		15.0	80.0	5.0	0.0
	お父さんには、夢中になって取り組んでいることがある。		57.0	34.2	8.9	0.0
保護者	お父さんは、やりたいことに向かって繰り返し挑戦したり、体を思いきりつかって活動したりすることが増えている。		59.5	38.6	1.9	0.0
子どもの意欲を引き出す固定遊具の種目は、自分で「これに挑戦する」と目標を決め自由遊びの時にチャレンジしたり、友だちからの刺激を受け、前向きに取り組む姿が見られます。また保育内体育の時に運動のコツを教えてもらうことで、挑戦するきっかけになっていました。今後も、体を動かしたいなどと自然に感じる雰囲気を作り、やりたいことができる生活を送る場づくりに努めていきます。						
【学校関係者】						
・一人で挑戦してもできなかったことが、お友達の応援やできるお友だちに教えてもらうことによって、あっという間にできるようになることもあります。親が教えるよりも同年齢の子のパワーは最強です。子どもたちがのびのびと成長をしている様子がよくわかります。						